

危険物施設における事故防止 —ヒューマンエラーの防止—

危険物施設で起きる火災等の事故には、ヒューマンエラーが少なからずかかわっています。平成11年中に発生した危険物施設における事故のおよそ半数はヒューマンエラー等の人的要因に起因して発生しています。

実際の事故は、施設に設置されている配管等の劣化、設備の故障等の要因やヒューマンエラーが複雑に絡み合い発生しており、ヒューマンエラーだけで発生するとは限りませんが、事故の発生にヒューマンエラーが大きく影響していることは事実です。

そこで、ヒューマンエラーにかかわる危険物施設の事故事例から、ヒューマンエラーの背後要因をキーワードで表し、ヒューマンエラーを防止するためのポイントをまとめましたので、次の事項に特に注意し、ヒューマンエラーを防止しましょう。

1. 人間はいつも簡単に間違えます

間違いを少なくし、事故を予防するには、まぎらわしい操作や複雑な手順を少なくし、計器や装置の表示を明確にしましょう。

また、簡単な間違いがあっても、事故にならないような装置等としましょう。

2. 人間の記憶はあやふやなものです

人間は物事をよく忘れるものです。また、「忘れた」ことが分からないことがあります。

(危険物規制課)

記憶ばかりに頼らず、メモや文書、記号や表示等で見えるようにしたり、チェックリストを導入し、作業工程どおりに作業が実施されているかが常に確認できるようにしましょう。

また、操作を忘れても事故につながらないような設備としましょう。

3. 人間は時には省略や手抜きをします

人間は、時には「人が見てないから」「たぶん大丈夫だから」と点検項目を省略したり、点検方法の手抜きを行い、これが事故につながる可能性があります。

省略や手抜きを防ぐには、実施すべきことをはっきりと示し伝えるとともに、なぜそれが必要なのかを教育しましょう。

4. 人間は知識が無くても無意識に行動します

危険物についての知識のある人にとっては、「まさか！そんなことをするなんて！」と思うようなことを、知識の無い人は無意識にすることがあります。危険物についての教育・訓練は、教育を受ける側の知識を考慮して行いましょう。

5. 人間はよく思い込みをします

人間はみんながしていること等は、確かめもせず正しいと思い込むことがあります。危険物施設等で作業をしていて疑問に思った場合は、マニュアル等で正しい手順を確認して作業を行きましょう。

また、危険物取扱者等は、作業マニュアル等に従って作業が行われているか定期的に確認し、適切な指導を実施しましょう。

6. 人間は自分が思っているほど相手をきちんと理解していません

人と人の間で、重要な情報が伝わらず事故が起こることがあります。

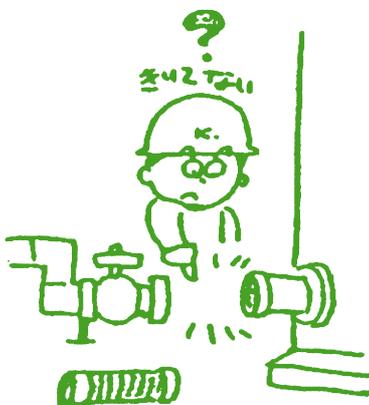
重要な情報は、文書にしたり復唱することで、情報を確実に伝えましょう。

また、自分の意図していることが相手に確実に理解されているか確認する習慣をつけましょう。

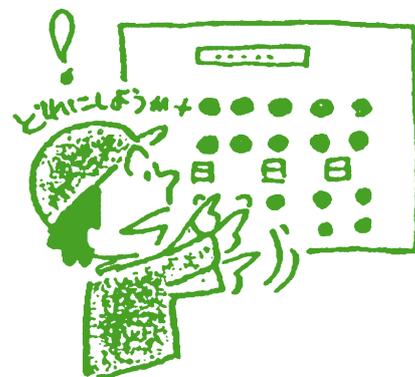
「閉め忘れ」



「連絡のし忘れ」



「ボタンの押し間違い」



平成12年度 消防設備保守関係功労者表彰、 優良消防防災システム表彰、住宅防火対策 優良推進組織等表彰

(予 防 課)

消防庁では、去る10月12日(木)午後3時30分より、東海大学校友会館（東京都千代田区霞ヶ関3-2-5霞が関ビル33階）において平成12年度消防設備保守関係功労者、優良消防防災システム及び住宅防火対策優良推進組織等の表彰式

が盛大に挙行されました。

式典では、細野消防庁次長が長官式辞を代読した後、各表彰ごとにそれぞれ表彰状が授与され、閉式後には記念写真の撮影及び祝賀会が行われました。

【消防設備保守関係功労者表彰】

消防設備の設置及び維持管理の適正化を通じて消防行政の推進に寄与しその功績が顕著であった者を、消防庁長官が表彰するもので、昭和60年度から実施しています。

〔表彰者 15名〕

ヤハラ消防設備株式会社	代表取締役社長	矢原 芳 藏
野呂電気株式会社	取締役会長	野呂 春 雄
常盤工事株式会社	代表取締役	藤枝 金 三
合資会社砂原電気工業所	代表	砂原 虎 雄
株式会社富士電気商会	代表取締役	杉本 徳 男
株式会社本田商会	代表取締役会長	本田 仁 勝
横山電機株式会社	代表取締役	横山 俊 昭
上野電工株式会社	取締役会長	山本 猛 虎
日本防火産業株式会社	代表取締役	船岡 滋
株式会社ハツタ山口	代表取締役社長	小田 正 雄
西工業株式会社	代表取締役	大西 暢
富士水道工業有限公司	代表取締役	坂口 進 美
高知総合防災有限公司	代表取締役	中山 慧 暁
株式会社宮園電工	代表取締役社長	宮園 季 治
株式会社ヨシキ	代表取締役	吉木 禎 厚

【優良消防防災システム表彰】

消防防災システムのインテリジェント化推進要綱（昭和61年12月5日消防庁長官通知）に基づき、特に優れた消防防災システムの設置者、施工者、設計者及び開発者を消防庁長官が表彰するもので、昭和63年から実施しています。

〔表彰対象 10件〕

さいたまスーパーアリーナ・ムービングブロック消防防災システム
福岡県済生会福岡総合病院・総合消防防災システム
川崎市立川崎病院・総合消防防災システム
JR セントラルタワーズ・総合消防防災システム
アピア（札幌駅南口広場地下街）・総合消防防災システム
大阪府立国際会議場・総合消防防災システム
ガーデンシティタワーズ・総合消防防災システム
山王パークタワー・総合消防防災システム
ベイシティー品川・総合消防防災システム
神戸中央ビル・超高感度煙検知システム

【住宅防火対策優良推進組織等表彰】

住宅防火対策を積極的に推進し、地域住民に住宅防火意識を向上させるなどの効果的な広報活動があった団体を、消防庁長官が表彰するもので、平成6年度から実施しています。

〔表彰団体 5団体〕

大阪市連合防火協力会（大阪府大阪市）
酒田電気工事協同組合（山形県酒田市）
後根波地区婦人防火クラブ（島根県山刀屋町）
大島町沖浦婦人会（山口県大島町）
東小佐世保町公民館（長崎県佐世保市）



全国火災予防運動用防火ポスターモデル(神戸みゆきさん) に対する消防庁長官感謝状の授与

(予 防 課)

今年も11月9日(木)から11月15日(水)の一週間にわたり、秋季全国火災予防運動が実施されます。消防庁では、この運動に向けて「防火ポスター」16万枚を作成しました。ポスターの制作に当たり、現在テレビ・ミュージカル等で幅広くご活躍されている神戸みゆきさんにモデルをお

願いしたところ、趣旨をご理解いただき、誠意と熱意をもってご協力いただきました。

この消防行政への貢献に対し、平成12年10月10日(金)午後1時から、自治省消防庁審議会室において、鈴木消防庁長官から感謝状を授与するとともに、記念品を贈呈しました。



ラオス内務大臣の消防庁長官表敬訪問

(消 防 課)

ラオスでは内務省において消防行政を所管していることから、アサン内務大臣の来日に際し、平成12年10月4日(水)に消防庁長官表敬訪問が行われました。

今回のラオス側の訪問者は、アサン・ラオリー内務大臣、インカム・インタマリー内務省官房長、アヌデット・クンカム内務省語学研修所副所長、トンサイ・ポーティサーン駐日ラオス大使です。

ラオスと我が国消防の間においては、消防集団研修の研修員受入れや消防専門家の派遣、平成元年度の無償資金協力など、様々な形で友好協力関係を構築してきたところです。今回の訪問では、ラオス消防の厳しい現状、消防体制整備に当たっての我が国消防の支援の重要性、両国の友好の促進と消防行政の発展等について懇談が行われ、両国消防幹部の相互理解、交流推進が図られました。



鈴木正明消防庁長官（前列中央左）とアサン・ラオリー内務大臣（前列中央右）

消防集団研修～研修員の消防庁訪問

(消 防 課)

消防庁では、開発途上諸国における消防分野の技術協力、人づくりに資するため、国際協力事業団（JICA）と協力して、開発途上諸国の消防職員を対象とした集団研修を実施しています。現在、「消防行政管理者研修」、「救急救助技術研修」、「消火技術研修」及び「火災予防技術研修」の4コースを実施しており、今年度の実施状況は、それぞれ次のとおりとなっています。

- 1 消防行政管理者研修：8ヶ国、8名の海外研修員を招き、9月13日～11月14日の日程により消防庁を中心に実施
- 2 救急救助技術研修：11ヶ国、11名の海外研修員を招き、8月7日～10月13日の日程により大阪市消防局を中心に実施
- 3 消火技術研修：9ヶ国、10名の海外研修員を招き、7月31日～10月25日の日程により北九州市消防局を中心に実施

- 4 火災予防技術研修：6ヶ国、7名の海外研修員を招き、10月2日～12月1日の日程により名古屋市消防局を中心に実施

また、それぞれのコースでは、研修所における講義、実技訓練のほか、我が国の消防関係機関、施設等の視察を実施しており、その一環として消防庁への訪問も行っています（8月30日：消火技術研修、9月18日：消防行政管理者研修、9月27日：救急救助技術研修、10月11日：火災予防技術研修。）訪問の際には、消防庁長官をはじめとする消防庁職員と海外研修員の懇談の場を設けていますが、研修への取り組み、研修内容に関する意見・要望、研修成果を活用した帰国後の抱負、国境を越えた消防に携わる者同士の交流などについて報告が行われました。いずれのコースも順調に研修が進んでいるところであり、消防技術の習得、帰国後の研修成果の活用、継続的な交流推進が期待されます。



鈴木正明消防庁長官と消火技術研修員（8月30日）



細野光弘消防庁次長と消防行政管理者研修員（9月18日）

全国消防殉職者慰霊祭

(総務課)

第19回全国消防殉職者慰霊祭が、去る9月19日(火)午前11時より日本消防会館・ニッショーホールにおいて、遺族、国会議員、消防庁及び日本消防協会等消防関係団体の関係者約700名の参列のもと、厳かに執り行われました。

この慰霊祭は、防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた全国の消防殉職者と消防協力殉難者の功績を称え、その御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるものであり、今年は新たに検索救助中に雪崩に巻き込まれて殉職した新潟県小出郷広域消防事務組合消防本部の故磯部三郎司令長、水難事故の救助で殉職した愛知県豊川市消防本部の故前澤光昭司令ら9柱が合祀されました。

当日は、徳田正明日本消防協会会長の式辞に続き、政府・国民を代表して森喜朗内閣総理大臣(代理：荒井広幸自治政務次官)、鈴木正明消防庁長官、池田春雄全国消防長会会長(代理：木挽孝紀事務局長)から、それぞれ追悼の言葉が述べられました。

この中で、森総理大臣は、有珠山、三宅島の火山活動や伊豆諸島の群発地震、東海地方の集中豪雨で被災された方々に対してお見舞いの言葉を述べられるとともに、「消防活動によって殉職された方々の御遺志にこたえ、その御霊に報いるためにも、今後とも消防力の充実と防災体制の整備に取り組み、国民が安心して暮らせる地域社会の形成と国家の実現のため、さらは一層の努力を傾注することをここにお誓いするものであります。」と、防災体制の一層の充実強化について述べられました。

また、鈴木消防庁長官は「消防に課せられた使命と責務の重大さに思いを致し、今後一層の精進を重ねて参ることを、尊い御霊の前にお誓い申し上げます。」と、消防に携わるものとしての決意を述べ最後に、遺族を代表して青森県大間町消防団の故島兼次副団長の遺族から、お礼の言葉が述べられ、式典は終了しました。



平成12年度消防団啓発ポスター等の作成

(消 防 課)

消防団は、地域社会における消防防災の中核として重要な役割を果たしています。しかし、都市化による住民の連帯意識の希薄化、過疎地域における若年層の減少等の影響を受け、消防団員数の減少、消防団員の高齢化等様々な問題が生じており、消防団を充実強化することが重要な課題となっています。

そこで、地域住民の消防団活動への理解と協力を促すとともに、特に青年層・女性層の消防団への参加を促進することを目的として、消防団啓発ポスター及び消防団参加促進パンフレットを作成しました。

1. ポスター・パンフレットの概要

CMなどで活躍中の福地香代さんと増田雄一さんをモデルとして起用しました。

がっしりとした消防団員が、その大きな背中を見せて「頼られる人」のイメージを強くアピールし、その前面には消防団のヘルメットを持った女性が、さわやかな笑顔で消防団への信頼を伝えるとともに、女性本人の入団の意思を受け取れる表現としています。また、若い二人を起用することで、次代の消防団を担う青年層・女性層に、消防団への親近感を与えることをねらいとしました。

2. 標 語 「頼られる人に、なろうと思う。」 「消防団員募集！」

街を守る消防団は地域住民の頼もしい味方であり、この信頼が厚く、頼られる消防団へ

の加入を、青年や女性、特に若年層に向けて呼びかけています。

また、「消防団員募集！」の文言を目立つようにデザインし、消防団への加入促進を表現しています。

3. 配布部数及び配布先

ポスター255,000枚を各消防団（本部、分団）、各消防本部、各市町村、各都道府県、各小中学校、各消防関係機関に、パンフレット1,200,000枚を各消防本部、各市町村に配布します。

※ 協賛 財団法人日本宝くじ協会



お 知 ら せ

平成12年 9 月の主な通知・通達

発 番 号	日 付	あ て 先	発信者	標 題
消防予第225号	9月29日	各都道府県消防主管部長	予防課長	消防用設備等点検済表示制度について
消防危第100号	9月29日	各都道府県消防主管部長	危険物規制課長	移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について

消 防 庁 辞 令

(平成12年 9 月30日付)

氏 名	新	旧
江 端 康 二	出向 (自治大臣官房付へ)	消防課長
向 山 秀 昭	出向 (自治大臣官房総務課へ)	特殊災害室

(平成12年10月 1 日付)

氏 名	新	旧
丸 山 浩 司	消防課長	防災課長
小 熊 博	防災課長	自治大臣官房付
茂 原 伸 幸	特殊災害室	自治大臣官房総務課

10月の広報テーマ

地震発生時の出火防止

消防の国際協力に対する理解の推進

婦人防火クラブ活動の理解と参加の呼びかけ

ガス機器による火災及びガス事故の防止

☆テレビによる防災キャンペーン（11月分）☆

ご存じですか ～防災ミニ百科～		
放送日	主管課	テーマ
11月2日(木)	総務課	(仮) 11月9日は「119番の日」

(日本テレビ他30局ネット)

訂正

消防の動き355号20頁「北から南から」の表題中「日向市」を「向日市」に、本文中（31行目）「日向町」を「向日町」に訂正します。

編集発行 消防庁総務課

〒105-8489 東京都港区虎ノ門2丁目2番1号

TEL 03(5574)0121

消防庁ホームページ

<http://www.fdma.go.jp>
